

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果報告書
(令和5年度分)

令和6年9月

豊山町教育委員会

目 次

第1部 点検・評価制度の概要	1
1 経緯	
2 点検・評価の対象	
3 点検・評価の方法	
第2部 教育委員会の活動状況の点検・評価	2
1 教育委員会会議の開催と審議状況	
2 教育委員の活動状況	
第3部 主要施策と事業の自己点検・自己評価	3
柱1 子どもの意欲を引き出し、夢と志を応援する学校教育	3
柱2 つながれた学校・家庭・地域	10
柱3 学びを支える教育環境	14
柱4 生活を豊かにする芸術・文化・スポーツ	19
第4部 学識経験者による評価	23

第1部 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）が改正され、平成20年4月から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という）を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出し公表しなければならないとされた。また、点検・評価を行う際には、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用することが求められている。

本町教育委員会は、これを受け、地教行法に基づいた教育行政の点検・評価を行い、より質の高い教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、ここに報告書を作成し、公表することとする。

（参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄））

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

令和5年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

3 点検・評価の方法

本町教育委員会は、令和5年度の実績をまとめ、基本方針と施策に掲げた関連事業を、「必要性」「有効性」「効率性」「達成度」の4観点から下記の評価基準によって点検・評価を行い、報告書にまとめ、令和6年9月の教育委員会会議で議決した。

また、この点検・評価を行うにあたっては、「豊山町教育事務執行等外部評価委員（以下「外部評価委員」という）の知見を活用し、外部評価委員の意見を報告書に掲載した。

（評価基準）

評価記号	基準
S	良い。現在の水準を維持し継続する。
A	概ね良い。内容を更に充実して継続する。
B	良いが、見直しをし、改善して継続する。
C	評価が低い。抜本的に見直しをするか、廃止をする。

第2部 教育委員会の活動状況の点検・評価

1 教育委員会会議の開催と審議状況

【実施状況と成果】

教育委員会定例会を12回（昨年度12回）開催した。教育委員会会議では、豊山町教育委員会の会議に関する規則の規定に基づき、議案31件（昨年度20件）、代決処理0件（昨年度0件）を審議・可決したほか、54件（昨年度50件）の報告を受けた。

詳細については、町のホームページで公開している。

【評価と課題・改善策】

教育に関する様々な議題について審議し、教育委員会としての意思決定をするとともに、各種議題や事業の進捗状況等の報告について、教育委員と事務局、教育委員と校長との意見交換を積極的に行った。

【総合評価】

上記の状況を踏まえ、総合評価はAとした。

2 教育委員の活動状況

【実施状況と成果】

教育委員は、教育委員会会議のほかに、関係機関・学校関係諸行事にも参加した。

ア 総合教育会議 1回（昨年度1回）

イ 学校訪問（1日訪問） 2校（昨年度0校）

ウ 町教育委員会学校訪問 2校（昨年度0校）

エ 校長との合同会議（学校経営の現状報告と情報交換） 1回（昨年度1回）

オ 入学式、運動会、体育大会等 4校（昨年度0校）

カ 愛知県市町村教育委員会連合会総会・研修会 1回（昨年度1回）

キ 愛日地方教育事務協議会会議 6回（昨年度6回）

ク 西春日井地区教育委員会連絡協議会総会 1回（昨年度1回）

ケ 西春日井地区教育委員会連絡協議会研修会 1回（昨年度1回）

【評価と課題・改善策】

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、参加を控えた行事があったが、令和5年度は様々な諸行事に参加をし、教育現場の実情を把握することで教育委員会の運営に資することができた。今後も、適切な感染症対策を講じながら、教育現場の現状把握や意見交換を積極的に行うとともに、他の市町との連絡や調整・情報交換等を行い、教育委員会として幅広い視野をもち教育の在り方を検討していく。

【総合評価】

上記の状況を踏まえ、総合評価はSとした。

第3部 主要施策と事業の自己点検・自己評価

柱1 子どもの意欲を引き出し、夢と志を応援する学校教育

子どもが自発的に課題に取り組み、活発に意見を交わしながら学ぶことを通して、子どもの成長を支える。

◆新たな学びへの取組の推進◆

新しい学習指導要領に対応した、未来の創り手となる資質・能力を育む。	総合 評価	A
-----------------------------------	----------	---

事業内容 1	情報教育の推進	評価	S
実施状況	<p>①ICT機器の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】 ICT機器の効果的な活用の現職教育の方針への取入 ICT機器を取入れた授業の質の向上 デジタル教科書やタブレット、書画カメラの活用 効果的で分かりやすい教材提示の工夫 <p>②情報モラル教育の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】「携帯・スマホ安全教室」の開催 町作成保護者向けリーフレット「ネットの危険から子どもを守るために！」の活用 ・【豊山小】 特別の教科 道徳や総合的な学習の時間、学級活動等で、情報モラルとその実践力を育成 ・【新栄小】 特別の教科 道徳や総合的な学習の時間、学級活動等で、情報モラルとその実践力を育成 ・【志水小】「情報モラル教室」の開催（1～6年） ・【豊山中】 技術科を核とした適切な情報活用能力の育成 <p>③プログラミング教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】 算数・理科でプログラミングアプリを活用 ・【新栄小】 各学年でのプログラミング教育の実施 ・【志水小】 算数・理科等でアプリを活用 ・【豊山中】 技術科の授業において実施（「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決」「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」「計測・制御のプログラミングによる問題の解決」） <p>④オンラインでの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】 北海道せたな町北檜山小学校4年生とWeb会議ツールを用いて交流 それぞれの町や学校の特色を発表 		
評価と改善策	○ ICT機器の積極的な活用によって、分かりやすく教材を提示することがで		

	<p>き、児童生徒の基礎・基本的な知識及び技能の定着が図れた。</p> <p>○ 全校において、授業でのプログラミング教育が定着してきた。今後も効果的かつ適切な活用方法を検討していく必要がある。</p> <p>○ 情報モラル教育は、近年の社会情勢を踏まえると喫緊の課題であり、かつ、Society5.0時代において必要不可欠であるため、ICT機器の活用推進と併せて身に付けることができるように努める。</p>
--	--

事業内容 2	外国語教育・国際交流の推進	評価	A
実施状況	<p>①外国語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校へのALT（外国語指導助手）の配置（中学校に1名、3小学校に2名） ・全小学校への外国語科専科教員の配置（3小学校に2名） <p>②国際交流の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国グラント郡との学生と本町中学生とのオンラインによる交流事業の実施（1回） *豊山中学校生徒2名が参加 		
評価と改善策	<p>○ 小学校で外国語の教科化を受け、外国語科の専科教員を配置し、ALTとのTTを実施することで、外国語教育の充実が図れている。また、休み時間や給食、清掃活動に児童生徒とともにALTが活動することで、授業以外の場面でも外国語や外国の文化に触れることができ、国際感覚豊かな児童生徒の育成の一助となっている。</p> <p>○ 外国語科の専科教員が、外国語活動や外国語科のT1として入ることができており、担任の負担軽減ができています。一方で、小学校の外国語科の授業で、全時間にALTが配置されていないところがあり、授業をさらに充実させていくためにも、全ての授業時間にALTを配置することが必要である。</p> <p>○ 米国グラント郡の学生とのオンラインによる交流事業を実施することで、外国の文化や言語に触れる機会が増え、国際理解教育の充実が図れた。</p>		

事業内容 3	道徳教育の推進	評価	A
実施状況	<p>①挨拶・ふれあいでの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアによる登下校での挨拶運動と見守りでの交流 <p>②読み聞かせの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小学校】PTAや地域ボランティアの読み聞かせによる豊かな心の育成 <p>③地域（学校）支援ボランティアによる交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】学校図書室整備活動、園芸委員会との花壇整備活動 ・【新栄小】大山川水生生物の授業、見守り活動お礼の会、「子ども110番の家」の方へのお礼訪問 ・【志水小】学校図書室整備活動、見守り活動お礼の会、「子ども110番の家」の方へのお礼訪問 <p>④「特別の教科 道徳」の授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自我関与させる発問の工夫 		

	・評価方法に関する検討の実施
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせを通して、本に親しむ機会が増えたことにより、豊かな心の育成につながった。 ○ 多くの地域（学校）支援ボランティアとの交流・ふれあいが、児童生徒の豊かな心の育成の一助となった。地域住民と子どもたちを結ぶ地域の絆づくりを今後も進めていく。 ○ 「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育をより充実させることで、よりよく生きるための基盤となる道徳的判断力の育成に努める。

事業内容 4	教員の資質向上	評価	A
実施状況	<p>①校内現職教育の充実（現職教育の研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】確かな学力を身に付けた児童の育成 <ul style="list-style-type: none"> －主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して－ ・【新栄小】意欲的に考え、伝え合いながら学ぶ児童の育成 ・【志水小】「子ども主語」の主体的な学びの実現に向けて <ul style="list-style-type: none"> －「自己選択・決定」や「振り返り」の場のある授業実践を通して－ ・【豊山中】主体的に学習に取り組むことのできる生徒の育成 <ul style="list-style-type: none"> －ねらいと発問を意識した授業実践を通して－ <p>②豊山町夏季研究協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育への理解を深めるための研究協議会の実施 「発達障害の理解と支援」 町内全教員参加 講師：愛知県医療療育総合センター 発達障害・療育支援グループ 小松 正明氏 <p>③不祥事根絶に向けた研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体罰、暴言、不適切な指導、パワハラ、わいせつ、情報漏洩、交通事故・違反 ・不祥事根絶に向けた小グループでの話し合いの取組 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校において現職教育の研究テーマをもとにタブレット端末活用方法検討会や月1度の授業研究など校内研修を充実させ、授業力が向上した。 ○ 学習指導要領の趣旨を取入れた適正な評価を行うための指導方法を研修し、教員の授業力改善に努めた。 ○ 8月に町夏季研究協議会を実施し、特別な支援を必要とする児童生徒の指導の在り方について外部講師から学び、教員の力量向上を図った。 ○ 若手教員の急増により、どの学校も若手教員とミドルリーダーの育成にOJTを取入れた研修を充実させた。不祥事防止に向けた研修にも力を入れて取り組んでいる。 		

◆きめ細やかな教育の充実◆

一人ひとりの個性や成長に応じた教育を推進し、子どもの支援体制の充実を図る。	総合 評価	S
---------------------------------------	----------	---

事業内容 5	少人数指導、チームティーチングの推進	評価	S
実施状況	<p>町講師の加配</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】町採用非常勤講師 15名（豊山小学校2名・新栄小学校3名・志水小学校4名・豊山中学校3名・適応指導教室3名） ・町立小中学校非常勤講師等研修会の開催（年4回） <p>教員としての心構えの講話や、研究テーマを基にした実践報告書の作成、授業研究協議会の開催</p>		
評価と改善策	<p>○ 町講師対象の研修会は、教員として身に付けておくべき力や教科等の授業力の向上を図る具体的実践的な内容であり、特に若手教員の育成に効果的であった。また、異校種・他校での授業研究協議会を実施することで、児童生徒理解の一助となった。</p>		

事業内容 6	特別支援教育の推進	評価	S												
実施状況	<p>①特別支援学級の状況</p> <table border="1"> <tr> <td>豊山小学校</td> <td>5学級（知的・自情・病弱・難聴）</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>新栄小学校</td> <td>3学級（知的・自情）</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>志水小学校</td> <td>2学級（知的・自情）</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>豊山中学校</td> <td>3学級（知的・自情）</td> <td>12名</td> </tr> </table> <p>②町職員の加配</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員4名 （豊山小学校2名、新栄小学校1名、志水小学校1名） <p>③通級指導教員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級指導教員2名 （豊山小学校・志水小学校1名、新栄小学校・豊山中学校1名） ・中学校に通級指導教室を設置 			豊山小学校	5学級（知的・自情・病弱・難聴）	17名	新栄小学校	3学級（知的・自情）	12名	志水小学校	2学級（知的・自情）	12名	豊山中学校	3学級（知的・自情）	12名
豊山小学校	5学級（知的・自情・病弱・難聴）	17名													
新栄小学校	3学級（知的・自情）	12名													
志水小学校	2学級（知的・自情）	12名													
豊山中学校	3学級（知的・自情）	12名													
評価と改善策	<p>○ 特別支援学級在籍の児童生徒は、年々増加傾向にある。また、通常学級に在籍する児童生徒であっても、特別な支援を必要とする児童生徒は増えているため、誰もが同じように学べる教育環境と適切な支援に努める。</p> <p>○ 通級指導教室により、集団の中で行動や気持ちのコントロールが難しい児童生徒への適切な支援を行っている。</p>														

事業内容 7	教育相談・生徒指導体制の充実	評価	A
実施状況	①学校いじめ防止基本方針の徹底		

	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめはいつでもどこでもどの子にも起こり得る」ことの共通認識 ・いじめ不登校対策委員会の開催（毎月1回） ②教育相談の充実 ・学期に1度の教育相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> → 児童生徒の実態を把握することにより、不登校・問題行動の未然防止や、問題の早期発見・早期解決に努める。 ・「いじめに関するアンケート調査（3回・無記名式）」の実施 ・児童生徒の心の居場所となる学級・学校づくり ・児童生徒や保護者との信頼関係の構築 ③学校関係機関との連携 ・町教育委員会・町生活福祉部・町保健センター・町教育支援センター「しいのき」・愛知県中央児童相談センター・学校医・西枇杷島警察署生活安全課などの関係機関との相互連携を密にした、問題行動等の未然・再発防止、早期発見と解決への取組 ・スクールソーシャルワーカーの配置による町生活福祉部との連携の強化 ・町いじめ問題対策連絡協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> → 町立小中学校の教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、中央児童・障害者相談センター職員、西枇杷島警察署署員、人権擁護委員、町生活福祉部職員によるいじめ防止に関する連携強化 ・町いじめ問題等対策委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> → 小学校生徒指導主任、中学校生徒指導主事、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、教育支援センター指導責任者、県家庭教育コーディネーター、担当校校長・教頭、町教委の参加による情報交換と指導 → スクールカウンセラーによるミニ研修の実施 ・保護者向けリーフレットの効果的な活用 <ul style="list-style-type: none"> 「ネットの危険から子どもを守るために！」を配布 ・「携帯・スマホ安全教室」や「情報モラル教室」の開催 ・人権集会の実施 ④教育支援センター「しいのき」の取組（小学生2名、中学生5名） ・社会的自立に向けた支援や学習支援
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを許さない全校体制での取組の結果、継続した悪質ないじめはない。しかし、年間30日以上長期欠席の不登校児童生徒は、依然多い状況にあるため、児童生徒の変容を把握し、早期対応と相談体制のさらなる充実に努める。 ○ 学級担任以外との教育相談の機会を設定し、学校全体で情報共有することで、担任一人で抱え込まず、チームとして児童生徒を見守る体制を構築した。 ○ スクールソーシャルワーカーの配置により、町生活福祉部との連携が強化され、児童生徒を取り巻く様々な環境に働きかけて支援を行った。 ○ 町いじめ問題等対策委員会において、スクールカウンセラーによるミニ研修を実施し、悩みを抱える児童生徒に対してより細やかな支援ができるように教員の力量向上に取り組んだ。 ○ 町教育支援センターにおいては、フィールドワークや創作活動、手芸工作、スポーツなど、児童生徒が意欲をもって取り組める多くの活動が企画されて

	<p>おり、児童生徒が安心できる心の居場所としての大きな役割を果たしている。</p> <p>○ 警察や児童相談センターとの連携をさらに密にし、問題行動の防止や早期発見への取組を継続していく。</p> <p>○ 関係機関との連携のもと、全小中学校で落ち着いた学校生活が展開された。</p>
--	---

事業内容 8	健やかな児童生徒の育成	評価	A
実施状況	<p>①年間を通した学校保健計画での取組（保健教育での実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健体育」や関連した教科（生活科・家庭科など）による保健学習 <p>②各校での学校保健活動の取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小学校】学校保健委員会の開催、「早寝早起き朝ごはん」運動、むし歯予防「フッ化物洗口」（新栄小学校は未実施）、とよやま健康マイレージへの参加、「生活チェックカード」の活用など ・【豊山小】全国歯みがき大会に参加（5年生）、すこやか集会（2回） ・【新栄小】「メディアチェックカード」の活用 ・【志水小】デジタルメディアの利用時間を減らす取組、「グーペタピン」でよい姿勢の取組 ・【豊山中】思春期教室（2年生） <p>③安心安全講習会の開催（学校安全計画による）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】西枇杷島警察署員による薬物乱用防止教室（6年生） 西枇杷島警察署員による交通安全教室（3年生） ・【新栄小】交通安全教室（3年生）、西枇杷島警察署員による薬物乱用防止教室（6年生） ・【志水小】自転車教室（3年生）、西枇杷島警察署員による薬物乱用防止教室（6年生） ・【豊山中】保護司による薬物乱用防止教室（2年生） <p>④通学路点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路交通安全プログラムに基づいた尾張建設事務所、西枇杷島警察署及び関係機関による通学路点検（通学路のカラー塗装などの要望）の実施 		
評価と改善策	<p>○ 学校全体による年間を見通した計画的な実践により、児童生徒の健全育成が図られた。</p> <p>○ 学校保健活動では、メディア機器が健康に及ぼす影響や姿勢の保持など、生活習慣の見直しを行い、規則正しい生活が送れるように指導した。</p> <p>○ 通学路点検及び自転車教室などの交通安全指導により、交通安全体制の充実を図り、児童生徒の大きな交通事故は発生していない。不審者対応や防犯カメラの設置など、学校周辺及び通学路のさらなる安全に努める。</p>		

事業内容 9	学校体育・スポーツ活動の推進	評価	A
実施状況	<p>①体力づくりの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】なわとび集会の実施 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・【新栄小】一輪車・なわとび運動 ・【志水小】なわとび運動・志水っ子ランニング <p>②部活動での活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山中学校の支所大会・愛日大会・県大会の主な結果 <p><支所大会>野球部優勝・女子卓球部優勝・サッカー部2位・男子バレーボール部3位・女子バレーボール部3位</p> <p><愛日大会>女子卓球部優勝・野球部優勝</p> <p><県大会>野球部2位</p> <p>③部活動振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山中】外部指導員による部活動支援（野球部・ソフトボール部） <p>④体験スポーツ事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山中】友好交流都市提携を結んでいる阿智村における中学1年生を対象とした本町独自の事業である体験スポーツ事業（トレッキング）の実施
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 達成度がわかるような「なわとびカード」「ランニングカード」を活用したことにより、積極的に運動に親しむ児童が増えた。 ○ 部活動では、部活動指導ガイドラインをもとに、効果的な練習を行うことができ、各種大会で大きな成果を上げた。 ○ 外部指導者の拡充に向け、部活指導の意義や指導方法と指導方針について学校との共通理解に努める。 ○ 体験スポーツ事業では、体を動かすことの大切さや楽しさを経験することで、生涯にわたって運動することの重要性を培った。

事業内容 10	就学援助の充実	評価	A
実施状況	<p>①就学困難者への援助の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助制度に基づいた援助の実施 ・経済的な理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者 ・特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的な負担軽減 <p>②教育振興事業による援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の副読本、夏休み・冬休みの日誌（児童のみ）、知能検査、学力検査（CRT） <p>③準要保護者への就学援助費・奨励費の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学学用品費、修学旅行費、学校給食費の支給 ・就学予定者への新入学学用品費前倒し支給の実施 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就学援助を必要とする保護者に、就学援助制度の周知を積極的に図り、経済的な援助を行うことで、適正な就学援助を充実させることができた。 		

柱2 つながれた学校・家庭・地域

学校と家庭、地域が一体となって子育てや家庭教育の支援を行う。

◆家庭への支援◆

子育て支援を充実させ、安心して子どもを育てられる環境を整える。	総合 評価	S
---------------------------------	----------	---

事業内容 11	家庭の教育力向上への支援	評価	A
実施状況	<p>①家族ふれあい事業<『豊山町の生涯学習・令和5年度のまとめ』(以下『まとめ』) P25~26参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児学級 <ul style="list-style-type: none"> 「心の栄養たっぷり!絵本の世界」参加者7組14人 「おもちゃの効果と選び方」参加者3組6人 「親子で遊ぶ子育て時間の楽しみ方」参加者6組12人 ・家族ふれあい講座 <ul style="list-style-type: none"> 「親子ドローン教室」参加者9組18人 ・家族芸術劇場 <ul style="list-style-type: none"> 「劇団うりんこ クモばんぼとぎんのくつした」2回 参加者合計227名 ・家族ふれあいコンサート <ul style="list-style-type: none"> 「ぴよぴよコンサート」3回 参加者合計26組 <p>②家庭教育講演会事業<『まとめ』P27参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講演会 <ul style="list-style-type: none"> 演題「ネット上でのモラルとLINEなどのSNSトラブルについて」 講師 ネットモラル塾講師 宅和 慶子 氏 参加者 31人 ・家庭教育相談 <ul style="list-style-type: none"> 年12回開催 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳幼児学級は、子育てに役立つ講演会を行い、若い親に家庭教育の重要性を訴えることができた。一方、年々参加者が減っていることと、類似した事業が他部署でも開催されているため、事業の見直しも含め検討する必要がある。 ○ 家族芸術劇場は、家族で本格的な舞台劇を直接楽しむことにより、家族との触れ合いの場や子どもたちに豊かな感性を育むことができる場を提供することができた。アンケート結果も大変好評であった。 ○ 家族ふれあいコンサートは、お子さんと保護者が一緒になって楽しめるミニコンサートを提供し、子育て中の母親のリフレッシュ、子どもたちの情操発達の醸成を図った。 ○ 家庭教育講演会事業は、家庭教育の重要性の普及、啓発を図るため、小中学校の児童・生徒を持つ保護者を対象に、家庭・地域での教育力向上を啓発し、その実践を促進する講演会、相談事業を開催した。令和5年度は、愛知県民文化局県民生活部社会活動推進課の事業である「ネット上でのモラル 		

	とLINEなどのSNSトラブルについて」を活用し、保護者と子どもが正しい情報モラルを身に付けることのできる内容を講義した。今後は、「本当に講演を聞いてほしい層」に参加してもらうための方法を考える必要がある。
--	---

事業内容 12	地域の教育力向上への支援	評価	S
実施状況	<p>総合型地域スポーツ・文化クラブ運営事業（わくわくくらぶ）＜『まとめ』P49～50参照＞</p> <p>子どもと保護者や家族・地域の大人たちが参加できる多世代参加型事業を実施した。地域ボランティアによる指導者のもと、陶芸・将棋・バウンドテニスなど17種のスポーツや文化のクラブを開設した。児童や保護者併せて211名参加した。</p>		
評価と改善策	<p>○ わくわくくらぶに新たに「バスケットボール」と「吹奏楽」の2種目を、地元企業の三菱重工名古屋バスケットボールチーム及び豊山ウインドオーケストラの協力により追加した。今後とも生涯にわたり一人ひとりの興味やライフスタイルに応じて、様々な形でスポーツに関わりを持てるよう、ニーズの把握に努め、新たな種目追加等に繋げる必要がある。</p>		

◆地域の活動の推進◆

スポーツやボランティア活動を通して、地域で子どもを見守り、健全な育成を支援する。	総合評価	S
--	------	---

事業内容 13	子どもの豊かな心を育む活動支援	評価	S
実施状況	<p>①青少年育成団体活動費助成事業＜『まとめ』P27～30参照＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団 <p>種目・人数：空手29人、卓球14人、バレーボール39人、野球64人、サッカー59人、剣道5人 合計210人</p> <p>②青少年生活指導事業 ＜『まとめ』P31～33参照＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県青少年健全育成県民会議が主唱する県民運動を通じた育成指導事業 少年補導委員・学校職員・PTAによる合同街頭指導での啓発活動他 ・豊山町青少年育成会議 会議の開催（1回） 青少年育成活動事業計画について他 青少年育成巡回指導事業 夏季（5回）延べ17人参加、冬季（4回）延べ6人参加 		
評価と改善策	<p>○ 青少年育成団体活動費助成事業は、青少年健全育成の推進を目的に活動しているスポーツ少年団に対して活動費の助成を行った。また、補助金の趣旨に基づき適正に執行されるよう指導した。今後も引き続き支援するとともに、事業費補助金として、明確な用途のもと適切に執行されているか検証する必要がある。</p>		

	<p>○ 青少年生活指導事業は、豊山町青少年育成会議によるアピタ名古屋空港店、ヨシヅヤ豊山テラスでの合同街頭指導や町内の巡回指導がほぼ定着・浸透してきている。巡回指導では子どもたちが集まりそうな神明公園、コンビニなどを中心に巡回することにより非行防止の効果があつた。令和5年度は、若者のSNSにおけるトラブルが増加傾向であり、正しく理解して利用しなくては他人の誹謗中傷や個人情報の漏えいなどに繋がっていくことがある。そのようなトラブルを未然に防ぐため啓発チラシ入りのティッシュを配布し、注意喚起を行った。今後は、既存の方法を維持しつつも、青少年の健全育成について啓発方法を見直しする等、効果的な方法を模索する必要がある。</p>
--	--

◆地域を生かした教育◆

地域の財産や人材を学校に取り入れ、子どもの学びを広げる。	総合 評価	A
------------------------------	----------	---

事業内容 14	地域に開かれた学校経営の推進	評価	A
実施状況	<p>①学校関係者による学校評価委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や保護者の外部アンケート分析を含めた自己評価の実施 ・学校評議員や保護者で組織する学校関係者評価委員会の開催（各校2回） <p>②地域住民参画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小学校】「民生・児童委員と小学校との懇談会」での情報交換と交流 運動会への保護者の参観 ・【豊山小】学校行事（学校公開等）への保護者の参観、読み聞かせへの保護者や地域ボランティアの参加 ・【新栄小】学校行事（学校公開等）への保護者の参観、読み聞かせへの保護者や地域ボランティアの参加 ・【志水小】保護者や地域のゲストティーチャーによる出前講座の積極的活用 読み聞かせや図書館環境整備への保護者・地域ボランティアの参加、運動会・作品展への地域の方招待 ・【豊山中】「民生・児童委員と中学校との懇談会」での情報交換と交流 		
評価と改善策	<p>○ 学校関係者評価委員会の意見を取り入れ、保護者を講師としたキャリア教育を実施するなど、地域に開かれた学校運営を推進した。</p> <p>○ 民生・児童委員と学校との懇談会は全校で実施し、地域と学校が一体となり、互いに共通の目標をもって子どもたちを見守ることができた。</p>		

事業内容 15	特色ある学校教育の推進	評価	A
実施状況	<p>地域等との連携による教育活動の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】福祉実践教室（5年） ・【新栄小】運動会ダンス指導（1～4年）、大山川水生生物の授業（5年）、いろはに邦楽（6年） 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・【志水小】福祉実践教室（４・６年生）、アルミ缶・エコキャップ回収活動、「(保護者による) 教えてもらおう 仕事のあれこれ」(５・６年)、琴教室(６年)、琴クラブ指導(４～６年) ・【豊山中】友好交流都市提携を結んでいる阿智村における中学１年生を対象とした本町独自の事業である体験スポーツ事業(トレッキング)の実施
評価と改善策	○ 地元の特徴や地域の伝統芸能を十分に活用して教育活動を進めた。今後、航空産業の町である特色を生かした取組や国際理解教育の充実を図っていく。

事業内容 16	地域人材を生かしたキャリア教育	評価	A
実施状況	①キャリア教育に関わる出前講座の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」 社会人に学ぶ「働く」ってどういうこと？(６年生) ・【志水小】(保護者による) 教えてもらおう 仕事のあれこれ(５・６年生) ②職場体験学習・進路学習の実施【豊山中】 <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習の実施 		
評価と改善策	○ 昨年度に比べ、小学校での出前講座の活用が増えた。また、中学校での職場体験学習及び進路学習を通して、職業観を育成するキャリア教育を小中学校で推進できた。 ○ 今後も、地域の人材や施設を積極的に活用し、専門的な知識をもっている社会人や職業人を外部講師として招き、直接学ぶ機会を増やす取組で、勤労観や職業観の育成に努める。		

柱3 学びを支える教育環境

安心して学びに向かうことのできる環境を整備し、「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる機会を提供する。

◆安全・安心な学校◆

児童生徒がのびのびと学習し、力が発揮できる環境を整備する。	総合 評価	S
-------------------------------	----------	---

事業内容 17	学校給食・食育の充実	評価	A
実施状況	<p>①給食センターの適正な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 献立委員会の開催 ・ 給食センターの業務や献立についての調査研究と審議 <p>②食物アレルギーへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【全小中学校】食物アレルギー児童生徒の保護者との面談（4月） エピペン研修会（対処法）への参加 ・ 【給食センター】衛生研修会（年1回開催・対象者：配膳員） ・ 令和2年度に策定した「豊山町立小中学校 学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、アレルギー対応を行っている。 ・ 令和3年度から、乳と卵のアレルギー除去食の提供を行っている。 <p>③食育の講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【豊山小】栄養教諭による食に関する指導（全学年） ・ 【新栄小】栄養教諭による食に関する指導（4年生） ・ 【志水小】栄養教諭による食に関する指導（1～4年生）、「お魚大好き 命の講座」（6年生） 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食物アレルギー対応マニュアルに基づき、適切にアレルギー対応を行えている。 ○ 食物アレルギーの対応については、エピペン所持の児童生徒が年々増えてきており、保護者との面談を通して情報を共有し、給食センターや学校と連携をして事故のないよう細心の注意を払っている。 ○ 令和3年度から、乳・卵の除去食の提供が開始されており、給食センターと学校、教育委員会との連携を密にし、対応している。 ○ 地域の特色を活用した取組を増やし、食育の充実を図る必要がある。 		

事業内容 18	学習環境の整備拡充	評価	S
実施状況	<p>①豊山中学校改築整備の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校施設整備基本構想会議を4回開催し、令和6年3月に豊山中学校改築基本計画を策定した。 		

	<p>②施設・設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】 プールろ過機制御盤取替、高木剪定 ・【新栄小】 配膳室空調機設置、浄化槽水中ブロワー取替、外壁補修 ・【志水小】 配膳室空調機設置、4階廊下改修、ランチルーム空調機取替、外壁補修、第2相談室空調機取替 ・【豊山中】 プール可動式屋根制御機器交換、放送機器取替、防災井戸設置、高木剪定、外壁補修、〔令和4年度繰越〕高圧受電設備改修
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 熱中症を予防するための空調機設置や、施設の老朽化に伴う対応を行った。豊山中学校については、改築基本計画を策定した。 ○ 各校とも校舎及び設備の老朽化が進行しているため、豊山町学校施設改築・長寿命化計画に基づき、整備・改善に取り組んでいく。

事業内容 19	教員の働き方改革の推進	評価	S
実施状況	<p>①会議の削減・校務の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】 校務支援システム（C4th）活用の推進、ペーパーレス（会議資料の電子化）の導入、企画委員会や朝の打合せの廃止・精選、ICT研修会（ソフトウェア活用研修会）の実施、定時退校日の設定、口座振替による学年費等の徴収、留守番電話の導入、打合せ・会議の精選、保護者用スマホアプリからの欠席連絡 ・【全小学校】 勤務開始時間・終了時間等の見直し ・【豊山小】 ICTを活用した授業の展開、学校行事の見直し、退勤予定時刻板（かえるボード）の活用 ・【新栄小】 学校行事の見直し、退勤予定時刻板（かえるボード）の活用 ・【志水小】 学校行事の見直し、退勤予定時刻板（かえるボード）の活用 ・【豊山中】 部活無しデーの設定 <p>②学校事務の共同実施の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム（C4th）活用による事務処理の効率化・適正化 ・豊山町共同学校事務室としての事務処理 ・事務職員のOJTの推進 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国や県の働き方改革の方針をもとに、教職員の多忙化解消のため、「会議の持ち方（回数・資料の削減）の改善」「定時退校日の設定」「部活動の休養日の設定」や3小学校では「退勤予定時刻板」の活用を推進し、教職員の負担を軽減し、子どもと向き合い、教育に専念できる環境づくりを推進している。 ○ 学校への欠席連絡を保護者用スマホアプリから行うことが可能になり、朝の電話対応が減り、児童生徒と向き合う時間の確保につながっている。 ○ 共同学校事務室により校務の効率化を推進し、教職員の負担軽減に努める。 		

◆充実した学びの場◆

学習講座・教室の充実とだれにも優しい社会教育施設の整備・充実を図る。	総合 評価	A
------------------------------------	----------	---

事業内容 20	学ぶ機会の充実	評価	A
実施状況	<p>①学習ニーズに対応した学習プログラムの提供事業<『まとめ』P9～10参照> 豊山町生涯学習推進審議会を令和5年9月、令和6年2月及び3月の計3回開催し、「部活動の地域移行」等について、十分な議論を重ねた。 生涯学習情報誌「生きがいタウン」を令和5年4月及び9月の2回（各3,500部）発行し、生涯学習課のほか、社会教育センターや学習等供用施設等の公共施設並びに町内のショッピングセンター及びコンビニエンスストアに配置し、生涯学習情報を必要とする方に配布した。</p> <p>②生涯学習関係団体・機関との連携による講座の開設事業<『まとめ』P10～17参照> ・生涯学習講座の開催 「自己の向上に関するもの」 豊寿大学、ローラさんのやさしい英会話、スマホ講座、パソコン講座 他 「生活の向上に関するもの」 苔ラマづくり、クリスマスリースづくり、多肉植物の楽しい寄せ植え 他 「県民の日学校ホリデー特別企画」 LaQ ハカセがやってくる！、映画上映会</p> <p>③生涯学習ボランティア養成事業<『まとめ』P17参照> 「生きがいタウン」に募集記事を掲載するなど募集に努めた。 ・生涯学習ボランティアバンク登録者数 45人 ・サークル登録 6件</p>		
評価と改善策	<p>○ 学習ニーズに対応した学習プログラムの提供事業は、生涯学習推進審議会において、令和4年度に町長から諮問された「部活動の地域移行」について議論を重ね、令和6年3月に基本的な考えを示した「中間まとめ」を町長に提出した。その他、令和6年度の生涯学習のまちづくり実施計画及び令和5年度の進捗状況などについて提案し、意見を求めた。引き続き、「部活動の地域移行」の答申に向け、また、豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画に基づく生涯学習の推進に係る施策について意見を求めていく。</p> <p>○ 生涯学習関係団体・機関との連携による講座の開設事業は、前期10講座、後期6講座の計16講座、特別企画2講座を開催することができた。開催した講座は良好な状況であった。また、豊山町「県民の日学校ホリデー」の実施に伴い、町内の小・中学校が休校となったため、子どもの居場所づくりの一環として企画した。出前講座は全29メニューを用意し、5回開催した。今後は、住民ニーズの把握に努めるとともに、受講率の低かった講座については新しいものと入れ替えるなど、町民が参加しやすい場の提供に努める必要がある。</p> <p>○ 生涯学習ボランティア養成事業は、ボランティアバンク登録者数が前年度に比べ11人増え、特に小学生向けに実施している「わくわくらぶ」に活用されている。令和6年度は「わくわくらぶ」種目数増加に伴い、登録者数も増</p>		

	<p>加する見込みであるなど、社会的に指導者等の人材不足が問題となっている中で順調に数を増やしている。ボランティアバンク養成事業が「わくわくらぶ」という子どもの居場所作りを担う事業に活用されていることから、ボランティアバンク登録者を確保することが質の高い安定的な事業運営にも繋がるため、今後も広報への掲載やホームページでの紹介などを行い、活用について周知及び人材発掘に努める。</p>
--	--

事業内容 21	社会教育施設の整備・充実	評価	A
実施状況	<p>①社会教育センターの長寿命化計画に基づく改修事業<『まとめ』P18参照> 自動火災報知設備等改修工事、躯体内部塗装工事、地下湧水ポンプ改修工事</p> <p>②社会教育センター管理一般事業<『まとめ』P18～P19参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育センター施設の運営（利用受付・許可、使用料徴収）、施設設備の維持管理 ・豊山グラウンド、志水テニスコート等のスポーツ施設の運営（利用受付・許可、使用料徴収）及び学校体育施設開放事業の運営（団体登録、利用受付・許可、使用料徴収） ・緑の休暇村（利用助成券の申込受付・交付） ・社会教育センターの利用状況（アリーナ・ホール・研修室など） 年3,046件利用【前年比59件増】※個人利用も含める 開館日数308日 1日平均約10件 <p>③学習等供用施設維持管理事業<『まとめ』P23～24参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部、新栄、富士の3か所の学習等供用施設の施設維持管理及び運営を一括して地方自治法第244条の2第3項に基づく指定管理者制度により実施した。 ・学習等供用施設の利用状況（東部・新栄・富士の3施設） 年4,291件利用【前年比306件増】 開館日数359日 1日平均約12件 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会教育センターの長寿命化計画に基づく改修事業は、社会教育センター長寿命化計画に基づき自動火災報知設備等の改修工事を行った。今後も利用者の安心・安全を確保、法令順守の工事を優先して実施する必要がある。 ○ 社会教育センター管理一般事業は、生涯学習拠点施設として利用者が安心、安全に利用できるよう施設の維持管理に努め、効率的な施設運営を継続する。 ○ 学習等供用施設維持管理事業は、指定管理者により適切な管理・運営を行っている。その他に施設の不良個所の修繕や自主事業の講習会を実施している。今後も、利用者数の増加、利用サービスの向上のため、指定管理者との打ち合わせ会の他、随時、情報交換を行い、連携を図ることが必要である。 		

事業内容 22	読書活動の推進	評価	A
実施状況	<p>図書室整備運営事業<『まとめ』P19～23参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育センター図書室の利用状況 開館日数：年286日【前年比±0】 貸出冊数：年合計37,526冊【前年比569冊増】 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・豊山町子ども読書活動推進計画の実践 ・豊山町子ども読書活動推進委員会（3回実施）の開催 利用者カード申請書の配布（新2年児童）、読書活動の情報交換 ・親子読書会（例年4回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 絵本読み聞かせ・紙芝居・大型紙芝居など 参加者合計69人 ・おはなし会（月1回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 絵本読み聞かせ・紙芝居・工作など 参加者合計110人
評価と改善策	<p>○ 第3次子ども読書活動推進計画に基づき、学校との連絡会議の開催、書窓の定期発行を行っている。今後も引き続き、既存の特設コーナーをより充実させる等、貸出冊数を増やすための取り組みを行う。</p>

柱4 生活を豊かにする芸術・文化・スポーツ

芸術・文化活動やライフスタイルに応じたスポーツに親しめる環境づくりを推進する。

◆芸術・文化活動の推進◆

文化振興事業の充実や芸術文化活動の発表の機会や拡充を図る。	総合 評価	S
-------------------------------	----------	---

事業内容 23	芸術・文化活動の推進	評価	S
実施状況	<p>①文化振興事業、お昼のときめきコンサートの充実事業<『まとめ』P34～35参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興事業 日時：令和6年3月3日（日） 内容：豊山音楽の日 第1部：豊山ウインドオーケストラ 第2部：1966カルテット 入場者：第1部163人 第2部165人 ・お昼のときめきコンサート 5月：52人、8月：55人、11月：58人、2月：33人 <p>②芸術・文化団体の支援事業<『まとめ』P35～39></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会加盟団体（26クラブ）の活動 16芸能部（豊山木遣保存会・豊山民謡クラブ・豊山太鼓研究会・尾張豊山太鼓・神楽保存会・詩吟教室・豊謡会など） 10文化部（陶芸クラブ・囲碁将棋クラブ・編物手芸スクール・豊山俳句クラブ・豊山写真クラブ・絵画クラブ・華道真豊会など） ・小中学校PTAグループの活動 豊山中学校（手芸部、園芸部、教養部）、豊山小学校（教養部）、新栄小学校（文化部）、志水小学校（ハンドメイドの会、どんぐり読書会） 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化振興事業は、昨年度に引き続き「豊山音楽の日」を開催し、豊山ウインドオーケストラ及び1966カルテットの演奏会を行い町民に質の高い芸術文化を提供することができた。今後は、「豊山音楽の日」の継続とともに、音楽以外の文化芸術等の振興についても検討する必要がある。 ○ お昼のときめきコンサートは、全4回実施し、町民が気軽に文化・芸術をふれることができる貴重な機会を提供することができた。今後も、入場者アンケートの意見等を参考に、マンネリ化しないための新しい試みを実施していく必要がある。 ○ 芸術・文化団体の支援事業は、文化協会と小中学校PTAサークル（4校）に対して社会教育関係団体補助金を交付した。また、補助金の趣旨に基づき適正に執行されるよう指導した。今後も引き続き支援するとともに、事業費補助金として、明確な用途のもと適切に執行されているか検証する必要がある。 		

◆文化財・郷土資料等の保存・活用◆

町の歴史や伝統を伝え、次世代を担う指導者を育てる。	総合 評価	S
---------------------------	----------	---

事業内容 24	文化財・郷土資料の保存・活用	評価	S
実施状況	<p>①文化財の保存・活用事業<『まとめ』P40～41参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会の開催（1回） 令和6年度の文化財保護行政について、生涯学習課の取り組みについて他 愛知県指定文化財（有形2・寺社所有）、豊山町指定文化財（有形3・寺社所有）（記念物2・個人と寺社所有）（無形3・保存会所蔵）の保護・保存 <p>②郷土資料室事業<『まとめ』P41参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 企画展の開催 「今、考える平和展 2023」（令和5年7月25日～8月27日） 住民から寄贈された民具などの郷土資料の収集と適切な保存 		
評価と改善策	<p>○ 文化財の保存・活用事業は、文化財保護審議会を令和6年3月に開催し、令和5年度、6年度の文化財保護に関する取組等について意見を求めた。年度末に文化財管理奨励交付金を県指定2件（有形2件）、町指定8件（有形3件、記念物2件、無形3件）に支払う際に、火災や盗難に関する呼びかけを行い、文化財の保存・保護に努めた。今後も、指定文化財の適正な保存管理のため、奨励交付金を継続していく必要がある。</p> <p>○ 郷土資料室事業は、「豊山町 今、考える平和2023」という共通テーマを設定し、総務課と連携して平和について考えるきっかけを町民に提供した。生涯学習課は、「今、考える平和展」と題し、豊山町に関する戦争資料をパネルと併せて郷土資料室に展示するとともに、平和をテーマにした曲を中心としたコンサートを開催した。また、図書室に平和に関する図書コーナーの設置や子どもたちに読み聞かせを行った。今後は、「臨空第2公園整備事業」予定地等から出土した埋蔵文化財の展示などを行い、地域における文化財の理解及び普及に努める。</p>		

◆スポーツ活動の推進◆

全ての人が、気軽に参加できるスポーツの機会を充実させる。	総合 評価	A
------------------------------	----------	---

事業内容 25	スポーツに関わる機会の創出	評価	A
実施状況	<p>①指導者の育成支援事業<『まとめ』P42～43参照></p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ競技全国大会出場者への激励費の支給 スポーツ推進委員定例会の開催 国・県・地区関係スポーツ推進委員連絡協議会研修会への参加 <p>②総合型地域スポーツ・文化クラブ運営事業<『まとめ』P44～50参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児体操教室、ノルディックウォーク教室、スラックライン体験教室、わくわくくらぶなど、子どもからシニア世代まで参加できる講座を開講した。 		

評価と改善策	<p>○ 指導者の育成支援事業は、全国大会で活躍した選手に激励費を支給するとともに、表敬訪問の様子を広報とよやま、町ホームページに掲載し、多くの町民に知ってもらえるよう広報活動に努めた。スポーツ推進委員（委員6人）によるスポーツの実技指導、スポーツ組織育成、生涯スポーツの普及活動、社会体育事業・スポーツ大会への協力活動、研修参加活動等の支援を行った。</p> <p>○ 総合型地域スポーツ・文化クラブ運営事業は、ノルディックウォーク教室やミニテニス教室など受講率の高い講座がある一方で、子ども運動教室やユニバーサルスポーツ教室などの参加者が少ない講座もある。このため、広報やSNSなどを活用し幼児・児童の参加を呼び掛ける必要がある。</p>
--------	---

事業内容 26	スポーツによる町のにぎわいづくり	評価	A
実施状況	<p>①スポーツ大会の開催事業<『まとめ』P51参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第52回町民体育大会【雨天のため中止】 日時：令和5年10月1日（日） 会場：豊山グラウンド ・第16回とよやまエアポートビューマラソン 日時：令和6年2月25日（日） 会場：開会式 神明公園内 航空館boon前駐車場 コース 豊山町 青山地内 競技内容：マラソン（2.1km、4.1km）、ジョギング（2.1km） 参加人数 523人 <p>②愛知駅伝への参加・支援事業<『まとめ』P51～52参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第16回愛知県市町村対抗駅伝競走大会への参加 愛知駅伝強化対策会議や選手団会議、選手練習会、公式下見会を行った。 大会内容 日時：令和5年12月2日（土） 午後0時30分スタート 会場：愛・地球博記念公園 参加団体数：52チーム（市の部37チーム、町村の部15チーム） 競技内容：9区間30.2km 順位：15町村中9位 ※昨年度8位 		
評価と改善策	<p>○ 町民体育大会は、雨天中止となったものの、課題であった「地区委員の負担軽減」を踏まえ、競技種目を地区対抗競技からオープン競技、団体対抗競技及び団体発表に変更するとともに、これまで地区委員が負担していたテント張り等の準備を実行委員会が実施するようにリニューアルを行った。</p> <p>○ とよやまエアポートビューマラソンは、神明公園周辺で開催し、523人が参加した。</p> <p>○ 愛知駅伝への参加・支援事業は、記録会を3回開催し、その結果等を基に選考された代表選手が12月に愛・地球博記念公園で開催された「第16回愛知駅伝」に参加した。結果は15町村中9位であった。また、候補者の育成やチームの結束力を高めるため、本番に向けた練習会も開催した。今後は、選考方法の明確化や、練習の方法について見直しが必要である。</p>		

事業内容 27	スポーツ施設・環境整備の推進	評価	A
実施状況	<p>①豊山グラウンド維持管理事業<『まとめ』P56参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山グラウンドの施設設備運営に対する維持管理 ・豊山グラウンド夜間照明施設の管理 <p>②豊山スカイプール維持管理事業<『まとめ』P57参照></p> <p>開場期間：令和5年7月1日（土）～9月10日（日）【69日】</p> <p>入場者数：56,814人</p> <p>③スポーツ施設維持管理事業<『まとめ』P58参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツ施設（志水テニスコート、ゲートボール場、伊勢山スポーツ広場、志水ふれあい広場、学校体育施設開放事業）の運営に対する維持管理を実施した。 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊山グラウンド維持管理事業は、利用者が安心・安全に利用できるように施設設備の保守、点検を行った。また、野球面3塁側にある補充土の倉庫扉改修工事を行った。今後も計画的に保守・点検を継続するとともに、必要な改修を実施していく。 ○ 豊山スカイプール維持管理事業は、プール開場に向け、指定管理者と事前打合せを行い諸課題に対する対策を協議した。遊泳者への安全対策や施設の老朽化に伴う安全対策の他、熱中症対策としてターフやテントを設置するなど、これらの対策により大きな怪我や事故もなく、安全にプールを運営することができた。 ○ スポーツ施設維持管理事業は、利用者が安心・安全に利用してもらうために施設設備の点検を毎年行っている。中には経年劣化が見受けられたり、志水ふれあい広場に設置している遊具の故障箇所等を確認した。今後も利用者の安全を図るため、危険箇所の早期発見、早期修繕が必要である。 		

第4部 学識経験者による評価

豊山町教育事務執行等外部評価委員（敬称略）

堀田 裕子	摂南大学 現代社会学部 教授
平手 ゆり子	日本教育公務員弘済会 愛知支部 参事

外部評価委員会開催日時

第1回外部評価委員会	令和6年7月26日（金）	午後2時～午後4時10分
第2回外部評価委員会	令和6年8月27日（火）	午後2時～午後3時

1 堀田 裕子 委員による評価

◎ 教育委員会の会議及び活動状況についての評価

1 教育委員会会議の開催と審議状況

- 豊山町のホームページ上で公開されている全12回の定例会会議録からは、条例やガイドラインの改正および、ラーケーションの実施などに伴い前年度よりも議案が11件増えたなかでも、決められた時間内で十分な意見交換が為されていることが確認できた。定例会および会議は、前年度同様、適切におこなわれている。

2 教育委員の活動状況

- 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、しばらくの間実施されていなかった学校訪問（2校）、町教育委員会学校訪問（2校）、入学式・運動会・体育大会等への参加（4校）が実現され、教育現場での諸活動がいよいよコロナ前に戻ってきたことが実感できる。

◎ 主要施策と事業についての評価

【柱1】子どもの意欲を引き出し、夢と志を応援する学校教育

◆新たな学びへの取組の推進◆

事業内容1 情報教育の推進

- 令和4年度から実施されている北海道せたな町北檜山小学校4年生と豊山町とのオンラインでの交流は、物理的に離れた距離にいる人びととの交流という、情報ツールのもつ利点を存分に生かした活動であり、高く評価したい。技術的な情報リテラシーの教育だけでなく、このように情報ツールを活用しさまざまな他者と「つながる」喜びを体感してもらうというかたちでも、情報教育を推進していただきたい。
- 令和5年度調査によれば、全国平均や愛知県平均を上回る74.4%もの児童生徒が、タブレットの活用について肯定的な意見をもっているという点は大変評価できる。だが裏を返せば、20%程度の児童生徒は、使いこなせていないなどの理由か、何らかの不满をもっていることになる。このような“情報弱者”を一人もつくり出さないように、さらに教育的努力を重ねられたい。

事業内容2 外国語教育・国際交流の推進

- オンラインでの国際交流も、事業内容1に関連して、理想的な情報ツールの活用事例である。令和5年度は豊山中学校生徒2名が参加したようだが、もう少し敷居を下げるなどして、より多くの生徒が参加できる工夫、あるいは、参加したくなる工夫をしていただけるとなお喜ばしいであろう。
- 子どもたちが外国語に慣れ親しむために、全ての授業時間にALTを配置することはぜひともできるだけ早急に実現していただければと思う。

事業内容3 道徳教育の推進

- 倫理や道徳に関わる教育は、いわゆる「道徳」の授業だけでなく「総合的な学習の時間」においても実施されているようなので一概には言えないが、ここに書かれている多世代交流や自然との共生といったテーマ以外にも、今後は多様な人びとについての理解がますます重要になってくると考えられる。とりわけ、多様な外見をもつ人びとについての理解は、今もっとも重要な問題の一つであると考えられる。さまざまな社会的マイノリティを視野に入れたさらなる取り組みを期待したい。
- たとえば、「障害／障がい」については、当事者が経験する困難の原因を当人のもつ性質等に求めるか、あるいは、社会の側に求めるかで、表記のされ方だけでなく目指す解決策が異なってくることもある。とくに中学生には、さまざまな社会問題の実状を学習することと合わせて、そうした問題に対する見方や考え方を養うことにも関心をもってもらえるような教育的工夫をされたい。

事業内容4 教員の資質向上

- 教員が、外部講師による研修などを通して、資質を向上させるだけでなく、不祥事根絶に向けた取り組みもおこなっていることがよく分かる。話を聞いて“頭”で理解するだけではやはり不十分であることも多いため、OJTを採り入れた研修は今後ますます重要になると思われる。

◆きめ細やかな教育の充実◆

事業内容5 少人数指導、ティームティーチングの推進

- 少人数指導およびティームティーチングのために、小中学校において非常勤講師を採用し研修会を開催していることは、将来の教員（常勤）を養成するための一ステップとして大変効果的であると思う。

事業内容6 特別支援教育の推進

- 特別支援学級在籍の児童生徒やいわゆる“グレーゾーン”の児童生徒は、年々増加傾向にある。教育のパーソナライズが重要になってきているとも言え、その意味では、特別支援教育支援員や通級指導教員といった専門職の役割は今後ますます重要になってくるであろう。引き続き、特別支援教育に注力していただきたい。

事業内容7 教育相談・生徒指導体制の充実

- いじめに関してはきめ細かく聞けば聞くほど件数が増えてしまうこともあり、なかには「いじめ＝嫌だと感じたこと」と解釈していたり、学校に行かない理由づけとしていじめ被害を訴えたりする児童生徒もいるという実情があるようである。とはいえ、なかには生命に

かかわる重大ないじめが潜んでいる可能性はぬぐえない。したがって、根気よく児童生徒の声を聞き続け早期対応に努めていただけるよう願う。

- いじめられる側に対するケアおよびカウンセリングだけでなく、いじめる側に対するケアおよびカウンセリングも必要である。生徒指導というかたちですでに実施されていることと思われるが、いじめる側の学習環境などにも注視していただきたい、

事業内容8 健やかな児童生徒の育成

- 虫歯予防や交通安全といった“昔ながらの”健康および安全講習会のみならず、デジタルメディアの利用時間を減らすための「ゲーピタペン」による良い姿勢維持の取り組み、および、近年子どもたちの間にも広がり社会問題となっている薬物乱用を防ぐための教室開催など、子どもに関わる現代的な諸問題への取り組みもおこなわれており、大変評価できる。今後も予期しなかったような問題が児童生徒の間で広がる可能性はあるため、引き続き社会的動向にも目配りしていかなければならない。
- 通学路点検は継続的におこなわれており、通学路のカラー塗装などの要望も少しずつ着実に実現されているとのことで、高く評価したい。今後も引き続き、交通事故ゼロを目指し町民の声を拾いあげていただきたい。
- 不審者対応として定期的な防犯訓練はもちろんのこと、地域の人びとが登下校時に見守りをおこなったり令和2年度から各学校に防犯カメラを設置したりと、十分な対策が実施されている。

事業内容9 学校体育・スポーツ活動の推進

- 近年の夏の暑さは尋常ではなくなっているため、体育館を建て替えるタイミングを待たずしてエアコンを設置する必要があるかもしれない。
- 野球部や女子卓球部など、部活動での活躍が目覚ましく、これは言うまでもなく指導を含む活動環境の賜物であろう。また、それと同時に、体験スポーツ事業（トレッキング）を通じて、広く豊山中の生徒たちにスポーツの大切さや楽しさを経験してもらう事業もおこなわれている。学校としての体育・スポーツ活動の推進として、部活動の強化とスポーツの楽しさを伝える活動とをさらにバランスよく進めていっていただきたい。

事業内容10 就学援助の充実

- 就学援助制度については、年度初めにホームページだけでなく、チラシ配付や、前年度対象者への手紙などを通じて積極的に周知されている。本制度を必要とする町民に情報が行きわたるようにするための努力が十分に為されている。
- 長引く不況に伴い、就学困難者は今後も一定数必ずいるであろうが、対象となる児童生徒たちが学業やスポーツを諦めてしまうことのないよう、引き続き十分な援助をおこなっていただきたい。

【柱2】つながれた学校・家庭・地域

◆家庭への支援◆

事業内容11 家庭の教育力向上への支援

- 情報モラルに関する講演会には、もともと関心が高い人びとしか集まらない傾向があるが、むしろ関心が低かったり知識がなかったりする人びと、あるいは、本当に悩んでいる人びとが参加するような工夫が必要である。小中学校において多くの保護者が集まる機会などを利

用して講演会を開くのも一つの方法として有効だと思われる。

事業内容 12 地域の教育力向上への支援

- 地元企業である三菱重工の名古屋バスケットボールチームや豊山ウインドオーケストラからの協力を得て、「わくわくくらぶ」が運営できるようになったというのは、町政への理解と地域の人びととの信頼関係があつてこそだと思ふ。
- 充実したラインナップを継続するためには、地域ボランティアによる指導者の高齢化問題も念頭に置かなければならない。「わくわくくらぶ」参加者の中から新たに指導者を育成していくような仕組みづくりも必要かもしれない。

◆地域の活動の推進◆

事業内容 13 子どもの豊かな心を育む活動支援

- 「スポーツ少年団」は、昭和 47 年の設立から半世紀以上にもわたって続いており、現在も 6 種目に計 210 人が参加している。かつての団員も今や指導者の立場になっているであろう。こうした地域に根づく伝統的な事業は、その歴史の価値をあらためて理解し、今後も継続していくべきである。
- 青少年生活指導事業について、巡回指導により非行防止の効果が得られたことは高く評価したい。ただ、公園やコンビニといった目に見える場所にたむろしている児童生徒たちは指導しやすいが、現在では、目に見えない場所、すなわち SNS 上の“場所”にたむろし危険な目に遭う児童生徒のことも考慮する必要がある。
- 啓発チラシ入りのティッシュ配布というのは一手段として有効だとは思ふが、SNS 上あるいはスマホ上で働きかけるのも効果的であると思う。とりわけ、もし上記のような SNS 上で生じる問題に関する啓発活動をおこなうとしたら、なおのこと SNS 上が効果的だと思う。たとえば、豊山町 LINE 公式アカウントを活用し、必ず見てもらえるようなかたちで啓発することはできないだろうか。

◆地域を生かした教育◆

事業内容 14 地域に開かれた学校経営の推進

- 志水小学校区において、小学生の意見を反映し信号を 5 秒延長したり、ゾーン 30 を設定したりした点は高く評価できる。実際に利用する人びとでないと分からないことは多い。今後も引き続き、町民の声に耳を傾けてほしい。

事業内容 15 特色ある学校教育の推進

- いろはに邦楽や琴といった地域の伝統芸能を活用した教育活動は、地元愛を育むうえでも重要である。ただし、この活動に関しても、指導者の高齢化問題とその対策はやはり考えなければならないだろう。
- 今後の事業として記されている、航空産業の町である特色を生かした取組と国際理解教育に大変期待している。

事業内容 16 地域人材を生かしたキャリア教育

- 豊山中の職場体験学習・進路学習には 29 事業所が協力してくださっており、ここにも、町政が地域住民と事業所とをうまく橋渡しできている様子が見て取れる。

【柱3】学びを支える教育環境

◆安全・安心な学校◆

事業内容 17 学校給食・食育の充実

- 食物アレルギー対応は、マニュアルに基づき、何重ものチェックも実施されており、組織的対応が十分にできている。
- 食育については、主に保護者や地域の方々に向けて、給食センター見学や試食などを実施しているようであるが、何がどこでどのようにどんな人びとによって生産されているのかということや、食べ物を粗末にはならないことなど、飽食の現代ならではの食育もまた目指されるべきであろう。

事業内容 18 学習環境の整備拡充

- 近年の夏の暑さ対策として、空調機を設置したことは大変重要である。不衛生になりがちなトイレやプールなどの水場については、定期的な確認と整備・改善に、引き続き取り組んでいただきたい。

事業内容 19 教員の働き方改革の推進

- 保護者用スマホアプリの導入によって、教員はもちろんのこと、保護者にとっても好評とのことである。機械化・簡便化していくことができるものは、どんどんしていき、その分の時間を児童生徒との対話や教材開発に使っていただきたい。
- 年々残業時間は減ってきているようであるが、依然として教頭などの役職が高い教職員は残業時間が長い傾向があるようである。簡便化できるものはまだあるはずなので、引き続き教員の働き方改革を推進していかなければならないであろう。

◆充実した学びの場◆

事業内容 20 学ぶ機会の充実

- 生涯学習ボランティアバンク登録者数は前年度よりも11名増え、「わくわくくらぶ」に活用されている。順調に登録者数を増やしているということは、豊山町民の関心の高さを物語っていると思われる。また、地域づくりおよび地域での子育てという考え方が浸透している証左でもあろう。

事業内容 21 社会教育施設の設備・充実

- 社会教育センターの年間利用件数が3,000件を超えており、十分に有効活用されていることが分かる。また、指定管理者制度によって実施されている学習等供用施設の年間利用件数は4,200件超で、こちらも十分に活用されている。施設が整備・充実しているからこそその数字である。

事業内容 22 読書活動の推進

- 社会教育センター図書室の年間貸出冊数は、前年度よりも569冊も増えており、町民の知的関心の高さがうかがえる。小さなうちから読書活動に興味関心を持ってもらうためのおはなし会や親子読書会などのイベントも定期的実施されており、図書室として十分に機能している。

【柱4】生活を豊かにする芸術・文化・スポーツ

◆芸術・文化活動の推進◆

事業内容 23 芸術・文化活動の推進

- 「お昼のときめきコンサート」は、町民が身近に文化・芸術に触れられる素晴らしい機会である。今後、マンネリ化しないために新たな試みを探り入れていくとのことなので、期待している。

◆文化財・郷土資料等の保存・活用◆

事業内容 24 文化財・郷土資料の保存・活用

- 新しく何かをつくることは比較的容易であるが、昔のものをつくることは決してできないことから、文化財や郷土資料は大変貴重なものである。その収集と保存を継続していくとともに、それをコンサートや読み聞かせとのコンビネーションで披露しそのメッセージを訴えていくことは高く評価したい。

◆スポーツ活動の推進◆

事業内容 25 スポーツに関わる機会の創出

- 総合型地域スポーツ・文化クラブ運営事業について、受講率の低い講座のなかには子ども向けのものもあるので、Kikottoなどで呼びかけるのは効果的かもしれない。また、参加者の意見を踏まえて内容を変更したり、場合によっては他の講座と統合したりするなどの見直しも必要かもしれない。

事業内容 26 スポーツによる町のにぎわいづくり

- 第52回町民体育大会は残念ながら雨天のため中止となったが、とよやまエアポートビューマラソンには500人以上が参加しており、スポーツへの関心の高さがうかがえる。
- 愛知駅伝について、選考方法の明確化や練習方法の見直しなどは以前から少しずつ課題として浮上していたように記憶している。各所から不満が出ないように、公平・公正な対応が必要であろう。

事業内容 27 スポーツ施設・環境整備の推進

- 豊山スカイプールの入場者数は、56,814人と過去最高を記録したが、そのうち、町民は約10%ほどに過ぎない。理由としては、近隣のプールが廃止になったこと、入場料が安いことなどが挙げられる。同プールは今年度をもって閉鎖されるとのことであるが、小中学校のプールを含め、維持管理費のかかるプールを今後新たに設置するのか、設置したとしても運営は誰がおこなうのかといった点について、町の未来を見据えて考えていかなければならないであろう。

2 平手 ゆり子 委員による評価

◎ 教育委員会の会議及び活動状況についての評価

1 教育委員会会議の開催と審議状況

- 町ホームページで、教育委員会定例会の会議録を確認したところ、12回の会議のいずれも誠に時宜を得た議案が提出され、審議状況も適切であった。

豊山中学校改築基本計画策定、給食センターの運営、新しい課題である「ラーケーションの日と学校ホリデー」等々、事務局と教育委員の間で活発な意見交換がなされ、各学校とも緊密に連絡を取り合っていた点を高く評価する。

2 教育委員の活動状況

- 前年度以上に学校訪問や各校行事への参加を積極的に行い、教育現場の実情をよく把握し、保護者や児童生徒に寄り添い支援する姿勢が大変良い。総合評価をSとするのが妥当である。

◎ 主要施策と事業についての評価

【柱1】子どもの意欲を引き出し、夢と志を応援する学校教育

◆新たな学びへの取組の推進◆

事業内容1 情報教育の推進

- 全小中学校でICT機器を効果的に活用した授業が定着してきており、児童生徒が自ら活用する力が向上している。各校が情報モラル教育とプログラミング教育を進んで取り入れ、情報化社会に対応していこうとする姿勢がとても良い。S評価は当然である。

事業内容2 外国語教育・国際交流の推進

- 全小中学校へのALT配置と全小学校への外国語専科教員の配置により、日常生活の中で自然に会話する機会が多くあることが大変素晴らしい。外国語専科教員とALTが同時に全ての曜日で配置できるよう一層の尽力を期待する。
- 米国グラント郡の学生とのオンライン交流を続けている。異文化を理解し、積極的な交流を図るこの活動の参加人数や回数を徐々に増やしていったらどうであろう。

事業内容3 道徳教育の推進

- PTA・地域支援ボランティアによる読み聞かせや、見守り活動お礼の会・「子ども110番の家」お礼訪問等、コロナ以前の活発な活動が戻っている。今後とも地域住民との触れ合いを通して豊かな心の育成を図っていただきたい。
- 自我関与させる発問の工夫等、「考え議論する道徳」の授業をどの学級でも実践できるよう指導方法の工夫改善を図り、適切な評価の在り方について検討を進めていかれたい。

事業内容4 教員の資質向上

- タブレット端末活用方法検討会や月1度の授業研究など、全校で教員の資質向上に力を入れている。タブレットを思考・表現ツールとして用いることは、若手教員の得意とするところであり、指導方法の一層の改善に役立てていただきたい。
- 夏季研究協議会にて「発達障がい理解と支援」を取り上げたことは意義深い。様々なタイプの児童生徒がいることを前提に、日々の学習活動や行事を考案することで、無理なく学

校生活を送れるようにすれば不登校をかなり防ぐことができると思われる。

- どの学校も 30 代から 40 代前半の教員の割合は増えてきているが、その分、産育休の代替教員の必要数も増えていると考えられる。ミドルリーダーと若手教員及び会計年度任用教員がともに力量を向上させるために、大いに OJT の手法を活用していただきたい。
- 教員の不祥事がニュースで流れると心が痛む。児童生徒のみならず、本人の人生に関わる一大事であることを教員が常に心していただけるよう、不祥事案とその根絶の方法について、研修会や職員会など、様々な場を利用して話し合っていくことが有効である。

◆きめ細やかな教育の充実◆

事業内容 5 少人数指導、チームティーチングの推進

- 町採用非常勤講師が 15 名と昨年度より 1 名増えたことや、年 4 回の研修会開催など、他市町よりはるかに充実した施策である。少人数指導や個別指導に力を入れることができ、児童生徒も担任も集中して学習できる環境作りに役立っている。また、将来の教員人材育成にも貢献している。教員志望者の減少が懸念される時勢でもあり、この施策の維持継続は必須である。これはぜひ S 評価としたいのだが。

事業内容 6 特別支援教育の推進

- 特別支援学級の設置数がかなり増えている中、町の支援員や通級指導員を適切に配置したり、学校設備を新設したりして個々の状態に手厚く対応している点が素晴らしい。前年度から中学校での通級指導教室設置により、小学校から継続して支援を受けられるようになった点も高く評価したい。評価としては S が当然である。
- やはり、西春日井地区に県立の特別支援学校がないので、本当は特別支援学校に行かせるだけでも遠くてあきらめたり、高等部が遠いために通学時に迷ったり、特別支援学級の担任が個々の発達特性に応じた効果的な指導方法を気軽に尋ねることができなかつたりなど、不都合な点が生じていないか気にかかる。県への働きかけが必要ではないかと思う。

事業内容 7 教育相談・生徒指導体制の充実

- いじめ報告件数をみると、年々低年齢化が進んでいるようである。これは「自分がいじめだと思っただけだ」という認識が広まってきたからと捉え、幼いうちから相談や指導をきめ細かに行うことで「いじめの芽を摘む」ことができる好機だと考えたい。そのためには、低学年では、家庭環境や個性の違いをからかったり、仲間外れにしたりしないこと、高学年からは、SNS 等での誹謗中傷は犯罪となることなど、人権教育を早期に進めることが望ましい。
- 適応指導教室では、集団活動になじめない児童生徒が進んで通える場所になるように様々な活動を企画し、効果を上げていると聞く。さらに家から出にくい状態の児童生徒とオンライン交流するなど、今後も創意工夫を生かして活動されたい。
- スクールソーシャルワーカーが、保護者と児童に信頼され、学校や行政、関係機関とうまく連携している姿を実際に見聞きした。スクールカウンセラーも良い方を配置していただき、効果を上げていると聞く。虐待や性被害、LGBTQ などの問題が社会的に大きく取り上げられている昨今、悩みを抱える児童生徒が心を開き、安心して暮らせるよう、今後も町を挙げての支援を継続・強化していただきたい。

事業内容 8 健やかな児童生徒の育成

- 各校で学校保健学習、安全点検が年間計画に基づき適切に実施されている。さらに「フッ化物洗口」「全国歯みがき大会」への参加、デジタルメディアの利用時間を減らす取り組みなど、児童生徒の健全育成が一層図られている。
- 通学路点検、自転車教室など交通安全指導の成果により、交通事故が発生していないところが良い。

事業内容 9 学校体育・スポーツ活動の推進

- 「部活動ガイドライン」の策定以後、県全体で、やり過ぎた部活動に歯止めがかかった。教員の多忙化解消のためだけではなく、過度な競争主義から脱却し、外部指導者の拡充を図りながら、児童生徒の意欲を喚起し、豊山中の生徒が各大会で良い結果が得られたことを喜ばしく思う。
- 本町独自の中学1年生の体験スポーツ事業は、生徒にとって楽しく有意義な活動となっている。今後もぜひ続けてほしい。

事業内容 10 就学援助の充実

- 従来、本町は行政の住民支援が手厚く、外国籍の児童生徒への支援も充実している。新入学学用品費の前渡し支給についても、大変有難い制度となっている。福祉部局との連携を密にして、生活に困窮している家庭を見落とすことがないよう支援を続けていただきたい。

【柱2】つながれた学校・家庭・地域

◆家庭への支援◆

事業内容 11 家庭の教育力向上への支援

- 乳幼児学級については、改善策にあるように、他部署と連携を図り、見直しを進められた。ただし「ぴよぴよコンサート」については、継続をお願いしたい。
- 家庭教育講演会は、「ネット上でのモラルとLINEなどのSNSトラブルについて」という誠に時宜を得た内容であった。全ての保護者に知っておいてほしい課題でもある。ただ実際にはPTA役員の動員になってしまっており、以前から参加希望者は少ない。入学説明会や学校公開日等に親子で一緒に学べる形式にしてみるなど、開催方法を変更されたい。

事業内容 12 地域の教育力向上への支援

- 総合型スポーツ・文化クラブ(わくわくくらぶ)は、17種のクラブに211名の参加者があったということで、参加費無料の教室や親子で楽しめる教室が多くある点で、大変うまく運営されていると考える。2つの新種目が追加されるなど、小学校の部活動に代わる活動場所として期待できる。とりわけ、三菱重工名古屋バスケットボールチームと豊山ウインドオーケストラの協力を得られた点を高く評価する。今後も地域の指導者の力を活用して一層の充実を図られたい。

◆地域の活動の推進◆

事業内容 13 子どもの豊かな心を育む活動支援

- 長い歴史のあるスポーツ少年団の活動が健在である。団員数に変遷はあるが、児童数が一時期より減っていることを考慮すると、町を挙げて子どもの健全育成を図っていると言える。練習や試合だけでなく、関市上之保地区スポーツ少年団との交流や美化運動への参加が続け

られている点も素晴らしい。今後も活動費の助成をぜひ継続していただきたい。

- 青少年生活指導事業における巡回指導については、改善策にあるように、大規模店舗より、子どもたちが普段よく利用している児童公園やコンビニエンスストアをメインにしたところが良かったと思う。

◆地域を生かした教育◆

事業内容 14 地域に開かれた学校経営の推進

- 学校評価委員会の活動も定着してきており、学校経営の改善に役立っている。また、委員の意見を早速採り入れ、保護者を講師としたキャリア教育に生かしたことは素晴らしい。
- また、通学路交通安全プログラムによる通学路点検や不審者対応など日々の見守り活動が確実に機能しているからこそ、事件・事故が未然に防がれていると言える。毎年適時実施されたい。

事業内容 15 特色ある学校教育の推進

- 前年度に比べ、町の食文化・伝統芸能などを知る地域学習を復活させた学校が増えた。航空産業の町である特色を生かした取り組みもぜひ復活させてほしい。

事業内容 16 地域人材を生かしたキャリア教育

- 感染拡大防止のため実施できなかった地域講師や保護者を活用した授業が再開できている。中学校での職場体験学習も29事業所での受け入れがなされたこと知り、良かったと思う。将来自分が働く姿を想定することで、学習への意欲付けが図れるものと考え。一層の充実を期待する。

【柱3】学びを支える教育環境

◆安全・安心な学校◆

事業内容 17 学校給食・食育の充実

- 令和3年度からの食物アレルギー対応の除去食の提供については、誤食事故を防ぐために関係者が細心の注意を払っており、安全に進められていると聞き、大変有難いと思う。今後さらに、栄養教諭による食育の中で、バランスの良い食品の取り方だけでなく、食物アレルギーの話を加えていただければ、食べてはいけない食品のある児童生徒が引け目を感じずに済むようになるのではないかと考える。また、担任教諭が出張などで不在時にも、確実に対応できるよう全教員に情報共有をお願いしたい。

事業内容 18 学習環境の整備拡充

- 懸案であった「豊山中学校改築基本計画」が策定でき、安堵している。今後具体的な建築案を作るにあたり、さらなる検討が必要となるであろうが、熱中症対策や大規模な災害が起きてもライフラインが確保できるよう最新設備を導入されたい。
- 各校の施設の老朽化が著しく心配しているが、空調機の設置など最大限できるところから改修していくという姿勢が顕著で、整備の計画が示されることで安心材料となる。今後も予算確保に向けて尽力されたい。

事業内容 19 教員の働き方改革の推進

- 教員採用試験の倍率がかなり低くなっており、このままでは、優秀な教員の確保ができない程の危機的状況である。学校単位でできる会議の精選などは既に頭打ちになっているところ、校務支援システムの充実、欠席連絡用のスマホアプリの導入、勤務開始時間の見直し、部活動の見直しなど、教育委員会が率先して、教職員が働きやすい職場づくりを行っている点を高く評価する。

◆充実した学びの場◆

事業内容 20 学ぶ機会の充実

- 生涯学週情報誌「生きがいタウン」は大変見やすく、講座内容が分かりやすい。QRコードを用いた申請方法は簡単便利で、申し込み不要の講座があり、無料の講座がほとんどであるなど、驚くほどである。引き続き、生涯学習審議会での意見を大事にして、充実した講座を企画されたい。
- 「部活動の地域移行」について「中間まとめ」が提出された。審議会の意見等を読むと指導者の扱いや金銭面、活動種目など、課題は山積しているようだが、保護者・教員の負担を減らしつつ、中学生の望みを生かせるものになってほしいと切に考える。よりよい制度づくりに向けて尽力されたい。
- ボランティアバンク登録者数が11人も増えていることは有難い。「わくわくくらぶ」が子どもたちの居場所作りとして効果的に活用されるよう、一層の人材発掘に努められたい。

事業内容 21 社会教育施設の設備・充実

- 社会教育センターは生涯学習の拠点であり、町民に愛されている施設である。防災機能も備えた安心・安全な施設として、今後も十分な施設管理・運営に努められたい。
- 学習等供用施設の利用件数も増えてきている。施設の適切な管理・運営について、今後も指定管理者との綿密な情報交換や講習会を続けられたい。

事業内容 22 読書活動の推進

- 開館日数は前年度と同じであるが、貸し出し冊数が増えている点が良い。親子読書会やおはなし会など、乳幼児期から本に親しむ機会を続けている点が良い。
- 夏が尋常でない暑さとなってきた。外遊びができない児童が室内遊びを楽しめる部屋や、中高生が宿題で分からないところを聞ける部屋、読書感想文教室などを大学生のボランティアを依頼するなどして、夏休みの図書室事業として開催してみたい。

【柱4】生活を豊かにする芸術・文化・スポーツ

◆芸術・文化活動の推進◆

事業内容 23 芸術・文化活動の推進

- 音学好きな方も多い町民にとって「豊山音楽の日」の公演が今年度も開催されたことは大変喜ばしい。豊山ウインドオーケストラの活動が軌道に乗ってきたようで、今後も町の行事のオープニングなどで演奏していただくなど、町民の目に触れる機会を増やしてみたい。
- 芸術・文化団体に所属する方の高齢化はどの地区でも懸念されているが、文化協会に新しい団体が所属しやすくなるよう、広報で呼びかけるなどし、引き続き手厚く助成されたい。

◆文化財・郷土資料等の保存・活用◆

事業内容 24 文化財・郷土資料の保存・活用

- 町指定文化財については、有形無形を問わず、豊山町の歴史となる事物について、写真や動画をデジタル資料として残し、適切に管理保管されたい。また、担い手の育成にも努められたい。
- 郷土資料室での企画展示は、毎年出来栄えが素晴らしく、担当者の創意工夫と熱意が感じられるものである。とりわけ「今、考える平和展」については、戦争資料の展示だけでなく、コンサートや読み聞かせなどで興味関心を持たせる工夫があった。この点からもS評価は十分納得できる。

◆スポーツ活動の推進◆

事業内容 25 スポーツに関わる機会の創出

- 大きな大会で活躍する選手は、夢や憧れを与えてくれる。将来、本町からオリンピック選手が生まれるかもしれない。スポーツ競技会全国大会への出場者には、今後も奨励費の支給をぜひお願いしたい。
- 「総合型地域スポーツ・文化クラブ」の運営にあたっては、指導者の育成が大事である。今後も多世代参加型の講座を企画・運営していただき、町民のふれあいの場の提供と健康の維持・増進に寄与してほしい。

事業内容 26 スポーツによる町のにぎわいづくり

- 町民体育大会はまたも中止となったが、エアポートビューマラソンや愛知駅伝が開催できて本当に良かったと思う。とりわけエアポートビューマラソンは多くの参加者があり和気あいあいと進められたと聞く。今後も安全に留意して継続されたい。

事業内容 27 スポーツ施設・環境整備の推進

- 豊山グラウンドや豊山スカイプールは、町民にとって思い入れの深い、親しみのある施設であるが、いずれも老朽化が進んでいるようで、利用者の安全・安心を考えると心配である。町民の楽しみを奪わないようにするためには、何か、代替施設を建設するのが望ましいのだが…。今後の在り方について、慎重に審議を進められたい。